

教科名	【教科: 社会(歴史的分野)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名	東京書籍	教育出版
調査の観点		
A 内 容 に つ い て	<p>(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の終わりに基礎的事項の確認ができる「チェック」が掲載されている。 ・章末には、学習の振り返りのページがあり、基礎・基本のまとめができる。 ・教科書の巻末に用語の説明が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページに「確認」の課題が示されており、基礎的事項の確認・整理ができるように工夫されている。 ・難解な用語や補足説明の必要な箇所には、側注や解説による説明を付記している。
	<p>(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学びのための「みんなでチャレンジ」や歴史的な見方・考え方を活用して考察することで学習を深める「見方・考え方」というコーナーが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用する技能が身に付く「読み解こう」や歴史の学習で身に付けたい技能や表現力を養う「歴史の技」というコーナーが設定されている。
	<p>(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代ごとに当時の様子が見られる資料が多く掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が視覚的に興味をもつような写真資料などが多く掲載されている。
	<p>(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和・環境・エネルギー・災害・人権(女性や子どもなどの社会的弱者)について取り上げるなどSDGsやESDに関連した記述が多く掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史学習の終わりに」では、自然災害をテーマにしたグループの発表例が取り上げられており、SDGsについて考える学習の参考となる。
B 使 用 上 の 便 宜 に つ い て	<p>(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ下に年表が掲載されているので、どの時代の学習なのか分かるようになっている。また、「チェック&トライ」では、学習内容のポイントを押さえることができる。 ・インターネットを使い、主体的に学習できるページが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間に表示した「時代スケール」により、学習する時代を視覚的につかめるように工夫されている。 ・学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるようになっている。
	<p>(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「持続可能な社会の実現に向けて」というページを設けるなど、多摩市が力を入れているESD関係の記載が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の窓」や「歴史を探ろう」では、人権や平和に関するテーマを取り上げるなど、多摩市が力を入れているESD関係の記載が見られる。

教科名	【教科：社会（歴史的分野）】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名	帝国書院	山川出版社
調査の観点		
A 内容 につ いて	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。 ・教科書見開きページ下段に小学校での既習事項が書かれており、基礎的事項を確認しながら学習を進めることができる。	・本文が詳しく書かれており、特に歴史的事象が発生した理由について触れている。 ・「ステップアップ」では、発展学習につながるような課題が設定され、基礎的事項の定着を図る工夫がされている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。 ・主体的・対話的で深い学びにつながる「多面的・多角的に考えてみよう」や、資料読解や情報収集の技能を習得できる方法を紹介している「技能をみがく」などのコーナーが設定されている。	・「歴史を考えよう」ではそれぞれの時代に沿った写真や資料を読み取ることで、当時の人の思いや願いや社会の情勢を考察する課題が設定されている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。 ・掲載されている表・グラフ・文章・写真がそれぞれの時代に適した資料となっている。	・資料に関する解説が詳しく、当時の社会を大観するための一助になっている。 ・「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」では絵図や写真等多用し、資料に基づく実証がされており、より根拠のある解説があることにより、スムーズに理解できるよう工夫がなされている。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。 ・教科書の最後に、「環境・資源・エネルギー」や「未来に向けて」というSDGsに関連したページがある。	・現代社会のグローバル化における課題や、日本での社会問題（少子高齢化、原子力発電、災害等）に関する事項が詳しく解説されている。
B 使用 上の 便宜 につ いて	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。 ・巻頭に「この教科書の学習のしかた」を設け、学習の見通し・振り返りの流れを確認することにより、自主的な学習活動がしやすくなっている。 ・各時間に表示した年表により、学習する時代を視覚的につかめるように工夫されている。 ・二次元コードが掲載されており、動画などのコンテンツを見ることができるよう工夫されている。	・単元のまとめでは、テーマごとに自分の考えをまとめる問題が設定されており、主体的に学習を振り返ることができるようにしている。 ・より詳しい解説を要する事項には、QRコードが表示されており、博物館や資料館、動画サイト等にアクセスできるようになっている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。 ・「未来に向けて」では、環境・人権・平和に関するテーマを取り上げるなど、多摩市が力を入れているESD関係の記載が本文中にも見られる。	・身近な地域学習の方法が6ページにわたり詳しく解説されており、特に地域の博物館での調査やフィールドワークを重視している。

教科名	【教科：社会（歴史的分野）】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名	日本文教出版	育鵬社
調査の観点		
A 内容 について	<p>(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。</p> <p>・単元の導入ページでは、それぞれの時代で何をめあてて学習するのか、示されている。 ・「学習の整理と活用」では、年表と地図が明示されており、年表で前後の時代との違いや関連性を捉え、地図で歴史的事象が発生した場所を捉えることができる工夫がされている。</p>	<p>・本文の外に用語の解説が詳しく明記されている。 ・各章の導入ページには、これから学習する時代について、確認すべきことが明確に示されており、人物や出来事、独自のキャラクターをによる描写により、関心や意欲を高めるための工夫がされている。</p>
	<p>(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。</p> <p>・「深めよう」では深い学びにつながるような、「見方・考え方」を働かせる問いが設定されている。 ・時代や年代ごとのまとめページ「アクティビティ」では、時代の特色を捉えるための発問やグループワークの課題が設定されている。</p>	<p>・各章の「学習のまとめ」や巻末の「歴史学習のまとめ」では、学習した内容を活用して、その時代の歴史や日本の歴史を大観し、表現する活動を通して、生徒の思考力・判断力・表現力を養うことのできる工夫がされている。</p>
	<p>(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。</p> <p>・資料や写真が大きく明示されており、特に絵画や文字資料が見やすく、資料に基づく実証の一助となっている。 ・遺構・遺跡の写真や絵図が多く使用され、資料に基づく実証とより根拠のある解説により、スムーズに理解できるよう工夫がされている。</p>	<p>・歴史的建造物に関しては、建物の全景が見える写真を多用しており、建造物の大きさや華やかな装飾も一目で見て取ることができる。 ・歴史的遺構に関しては、鳥瞰図等が描かれているため、遺構全体を大観することで、当時の社会情勢や人々の考えを考察するための一助となっている。 ・巻頭の4ページにわたって、各時代の代表的な文化遺産が明示されており、時代ごとの文化の違いや進展を大観することができる。</p>
	<p>(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。</p> <p>・「歴史との対話」では、災害、世界平和、政治参加について、歴史的な視点から考える教材になっている。 ・近世（江戸時代）の暮らしの中で、当時の人々のリサイクルの工夫について詳しく取り上げている。</p>	<p>・「なでこ日本史」では、時代ごとに活躍した女性について詳しく取り上げており、SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」の内容に関連している。</p>
B 使用 上の 便宜 について	<p>(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。</p> <p>・全ての単元に年表が明示されており、時代の前後の流れを大観しやすい。 ・「チャレンジ歴史」では各時代のポイントとなった事象に着目し、より詳しい資料を基にして、自ら考えを深めるための課題が設定されており、主体的な学習を行うための工夫がされている。</p>	<p>・歴史のターニングポイントでは、生徒の主体的・対話的な深い学びにつながるテーマが設定されている。 ・「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、博物館の学芸員になったつもりで、主体的な判断で史料を選び、展示方法を考えることにより、各時代の特色を捉えるための工夫がされている。</p>
	<p>(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。</p> <p>・「でかけよう歴史」では、史跡見学の仕事が詳しく解説されており、ニュータウン開発時に大規模な発掘調査が行われた多摩市において、地域学習を充実させる一助となっている。</p>	<p>・「地域の歴史を調べてみよう」では、地域調査において特に学芸員等から解説を聞くための手段が明示されている。 ・多摩市としてもゆかりの深い地域の内容として「玉川上水」の内容が掲載されている。</p>

教科名		【教科：社会（歴史的分野）】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名		学び舎	
調査の観点			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各時代の導入に明示されている「学習課題」には、どこに着目すべきか、人々の生活はどのように変わっていくかについて、考えるポイントが示されており、基礎的事項の定着とその活用ための工夫がされている。	
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・読み取った先人の思いや願いを基に、その実現に向けて当時の人々はどのような工夫や努力をしたのかを考察することができるよう工夫されている。	
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・写真や資料だけでなく、迫力のある想像図や復元図が明示されており、臨場感のある構成となっている。	
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・産業発展による環境破壊や、戦争による人権の侵害、原発の問題、非正規労働者の権利等に詳しく触れている。 ・子ども、女性、ハンセン病患者といった人権課題についての記述がある。	
B 使用上の 便宜 について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「歴史を体験する」では体験学習の方法が紹介されており、インターネットや博物館等を利用した調べ学習や体験者からの聞き取り、討論の方法などの仕方が紹介されている。	
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	・「1章をふりかえる」では、火おこしの方法が明示されており、体験に学ぶことができる埋蔵文化財センターへの関心を高める内容となっている。	